

# 2013環境シンポジウム

## 「しぜんごこちの家」

・・・環境住宅のこれから・・・

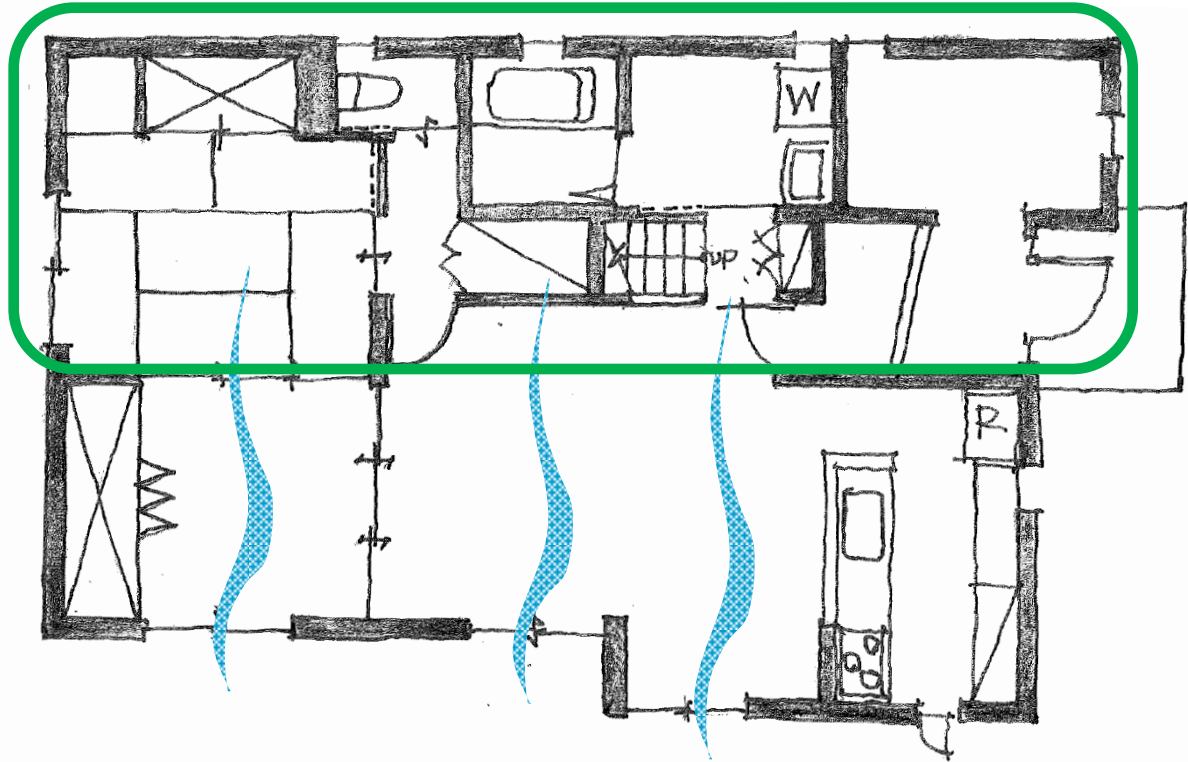
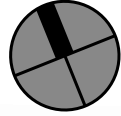
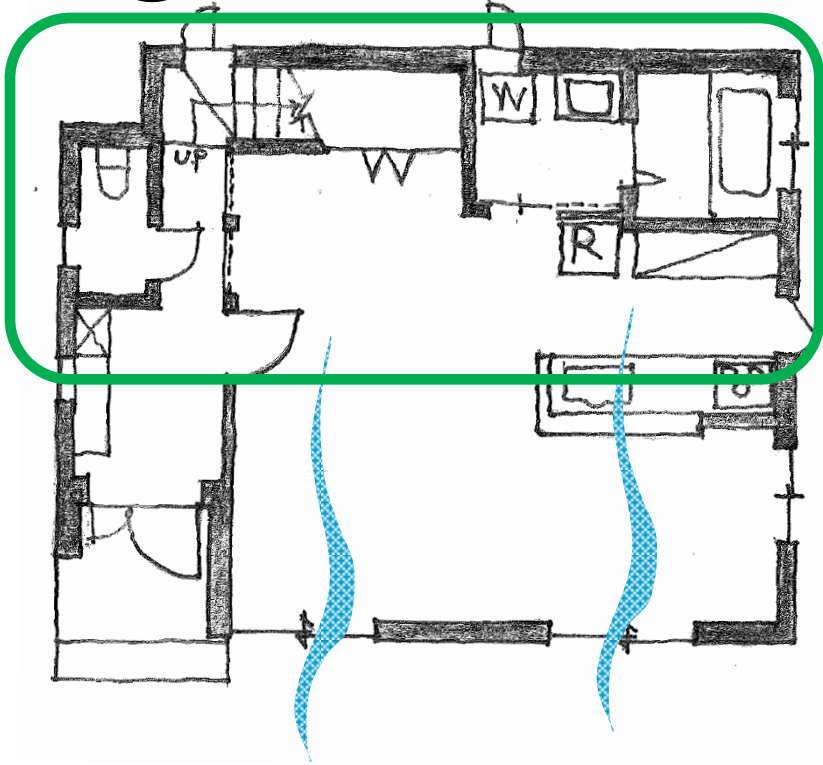
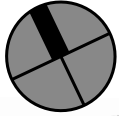


旭化成ホームズ(株)  
くらしノバージョン研究所 村松 浩

# しぜんごこちの家とは？

- **しぜんごこちの家のパッシブとは・・・**  
ひとのからだに、ひかり・かぜが触れること。多くのパッシブ住宅は、ひかり・かぜが、家にあたったり、家の中にはいることであった。
- **ひとが対象である・・・**  
その意味では、自然は、ひとの居場所に呼び込まなければならないことを示す。それは、住まい方に係わるということである。
- **アクティブな設備との両立・・・**  
スマートハウスの設備は、これからの家に搭載されていく。しぜんごこちの家は、この流れに矛盾しない。ただ、設備等からでは、得られないものを提供する。

# ふたつの家の共通点？



# ふたつの家の共通点？

- かせ通しが悪いと指摘される間取り・・・  
裏側に窓がなくかせが抜けない。表側に窓があってもかせは入らない。
- 夏のいごちが悪いと指摘される  
断熱性が期待より低いと指摘される・・・住宅の現状

# 環境住宅とは？

- 基本的な意味で、周囲のかぜ・ひかりの取り入れも重視したい・・・  
CO<sup>2</sup>削減、省エネ、そのための躯体性能・設備が言及されがちであるが。

以降、「しぜんごこちの家」のプランのあり方を解説

表の居場所・奥の居場所

食器棚に付く小さい窓

裏

従来の家



風の出口

しぜんごちの家

風の出口

奥  
(奥の間)

表

出来るだけ大きな窓

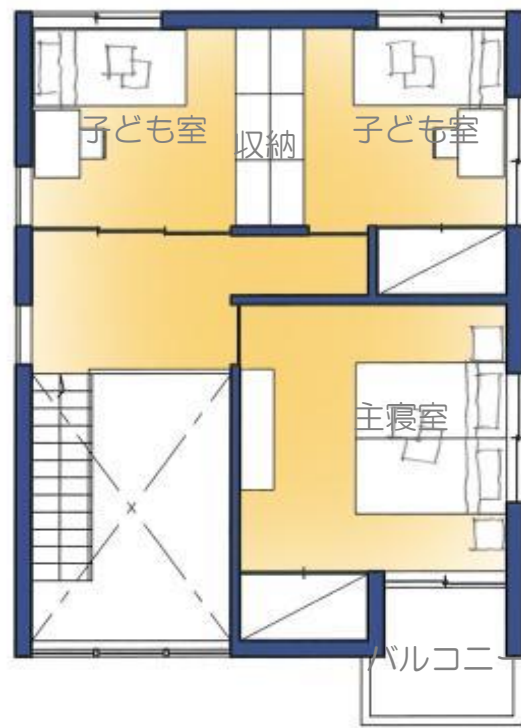


- かせを取り入れる  
設計のあり方「かた」・・・奥に居室（奥の間）をとる。

多くの住宅の裏側は、キッチンや水廻りであり、窓が取れないことが多い。裏に居室が取れば、裏にも「窓」が確保される。「窓」は、かせの出口である（裏から奥へ）。

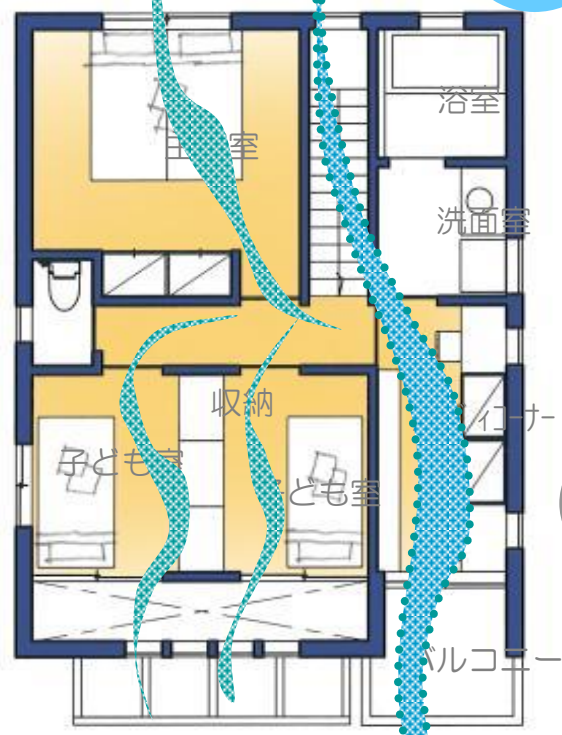


従来の家



2階平面図

しぜんごちの家



風の  
出口

風の  
廊下

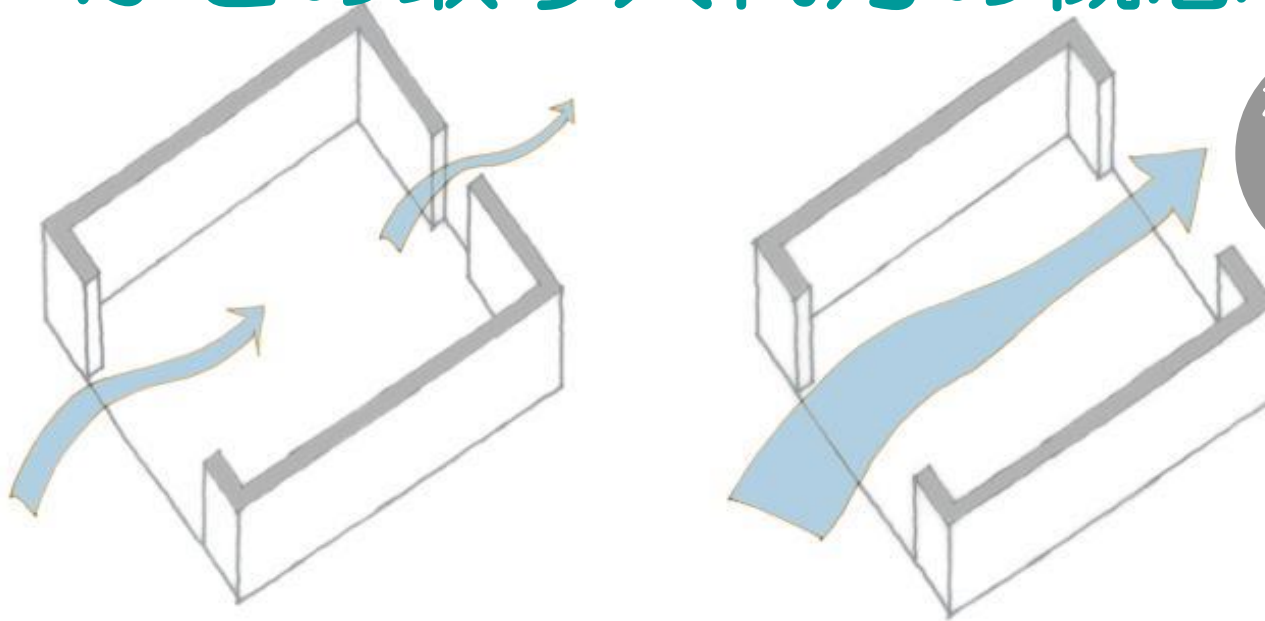
風の  
入口

- 個室階には「風の廊下」をとる・・・他の個室を経由しなくてもかぜが流れる、かぜの道をつくる
- 屋根の上空を流れるかぜは、最上階の「風の廊下」にかぜを引き込む。そのかぜは、階段や吹き抜けを通して、下階の「風の廊下」にかぜを引き込む。
- (補足)  
裏に水廻りが来て「窓」が取れない場合は、通風機能のある建具によって、洗面所や風呂場の窓を駆使して通風を図る。床に沿った低い位置にかぜを通したい。  
(写真は試作)





# 自然を取り入れる かぜの取り入れ方の概念



かぜの出口  
を  
しっかり  
とる

上空のかぜ  
を  
利用する



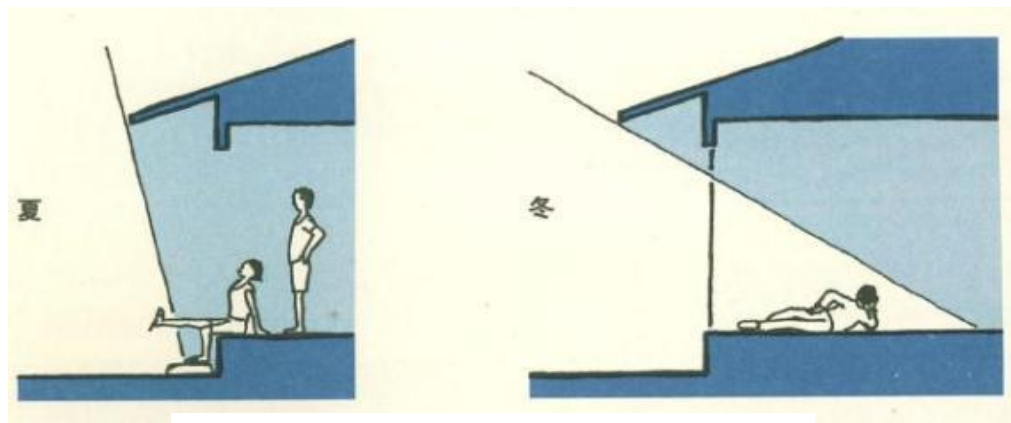
- **かぜを取り入れる・・・**

かぜの出口をしっかりと取る。上空のかぜを利用する。

かぜの出口が確保されなければ、屋内にかぜは入ってこない。密集地であっても、屋根の上にかぜは流れる。

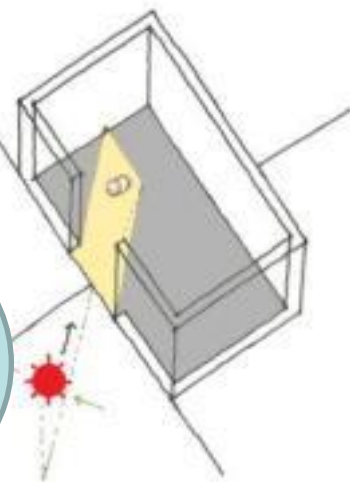
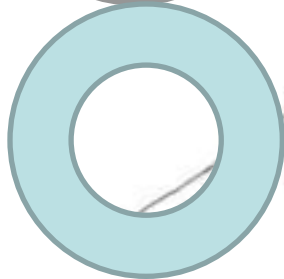
複雑なかぜの流れを上記のような簡略な設計思想にまとめることが重要である。実際は、かぜの流れは一律ではなく、このような流れではないことも多い。しかし、大まかな意味で、屋内の通風は担保できる。

# 自然を取り入れる ひかりの取り入れ方の概念

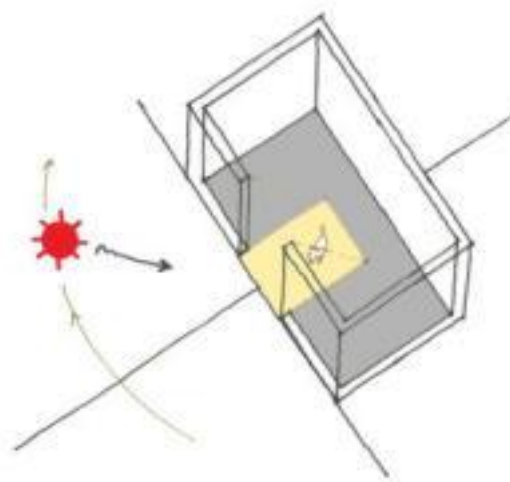


よくある  
日射の説明図

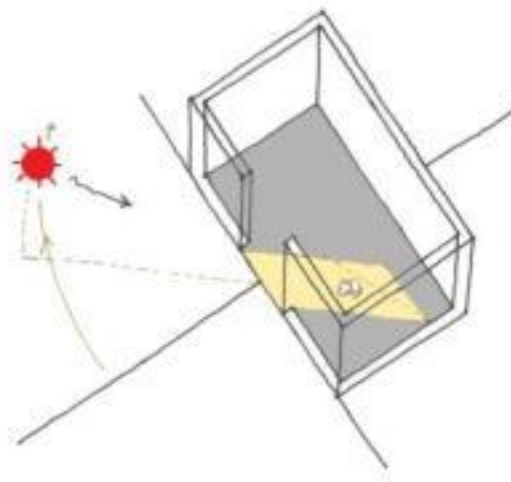
陽は刻々と  
移動する



9:時



12時



15時

- ひかりを受け入れる・・・

窓前の、陽が入り続けるところに居場所をつくる。

陽の動きに合わせて、からだが移動できるような居場所をつくる。

陽は刻々と変化する。「よくある日射の図」は、  
一時刻を表しているにすぎない。

# 従来の家

食器棚に付く小さい窓



直射日光

駐車場

# しぜんここの家

出来るだけ大きな窓

反射光  
拡散光



窓辺の居場所

窓辺の居場所

直射日光

駐車場緑化

- ひかりを取り入れる

- 設計のあり方「かた」・・・

「窓」に接して、窓辺の居場所「窓の場」をとる。

窓前は長時間、陽の当たる場である。

(かぜをひとが受け止めやすい場でもある)

奥からのやわらい陽「拡散光」「反射光」  
も積極的に、無駄なく利用する。



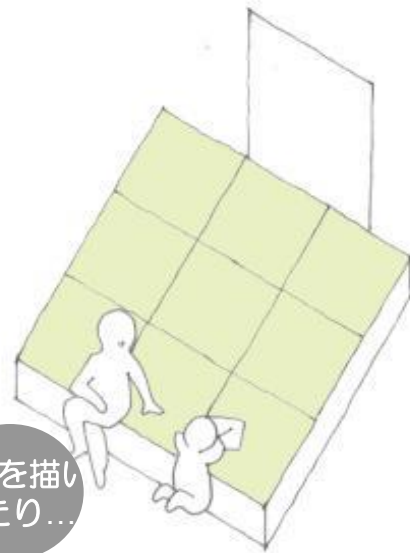
# 窓の場



日陰で  
読書



ひるね



- 「窓の場」・・・窓前は長い間陽の当たる場である。と同時に、陽の移動に対応して、ひとが動ける「線の場」「面の場」である。従来の家具は、そこに居るという「点の場」である。
- あえて「段差」の場をつくる・・・段差は居場所「線の場」となる。ただの通過動線のままで終わらせない。

# 実例紹介

## その1

# しぜんごこちの家 横浜〇街かど展示場

## ■床下げデスクコーナー

床下げ効果で周囲から見えにくく、こもり感のある隠れ家空間。長いカウンターは、ひとりでも複数人でも使い、落ち着いた気分になれる書斎的な居場所です。

## ■間仕切キャビネット

両側から使える収納で空間を仕切ります。高さ1350で上部は空いているので、空間同士の雰囲気は伝わります。

## ■つながるLDK

キッチン、ダイニング、和室、床下げ空間と視線や気配でつながる開放的な空間です。

## ■ジョイントフロア

階段の2段目の高さが床になった、1～2階の継ぎ目空間。LDKに面したベンチのように使えます。大人数の集まりではLDと一体的に使ったり、キッチン前の子どもの遊び場にもなる居場所です。

## ■窓の場ベンチ

家中で最も光や風に触れられる窓辺の居場所。ベンチの下は収納になっています。

## ■床上げタタミ室

夏は涼しいたた寝を、冬は4、5人で囲める炬炬燵も用意された畳空間。書初めやボードゲームをしたり、お雛様を飾ったり、来客の宿泊にも使えます。床下は季節物に有効な収納空間です。

## ■板の場カウンター

和室段差を利用した座れる居場所。ちょっとした書き物や、子どものお絵かき、コーヒーテーブルになったりと様々な使えます。

## ■プライベートガーデン

道路から見えにくく、リビングや和室とはつながるオープンスペースです。

## ■リビング階段

上階にリビングの雰囲気伝わり、しぜんと家族が集まりやすくなります。

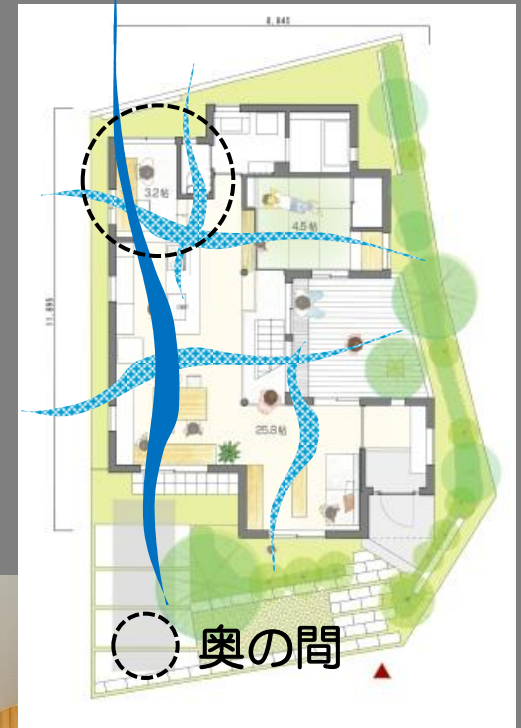
## ■カーポート緑化

カーポートにできるだけ植栽を取り入れることで地面からの輻射を防ぎ、夏の室内温度上昇を抑えます。





# 奥の間



# 窓の場 その1





# 窓の場 その2



# エコとは？

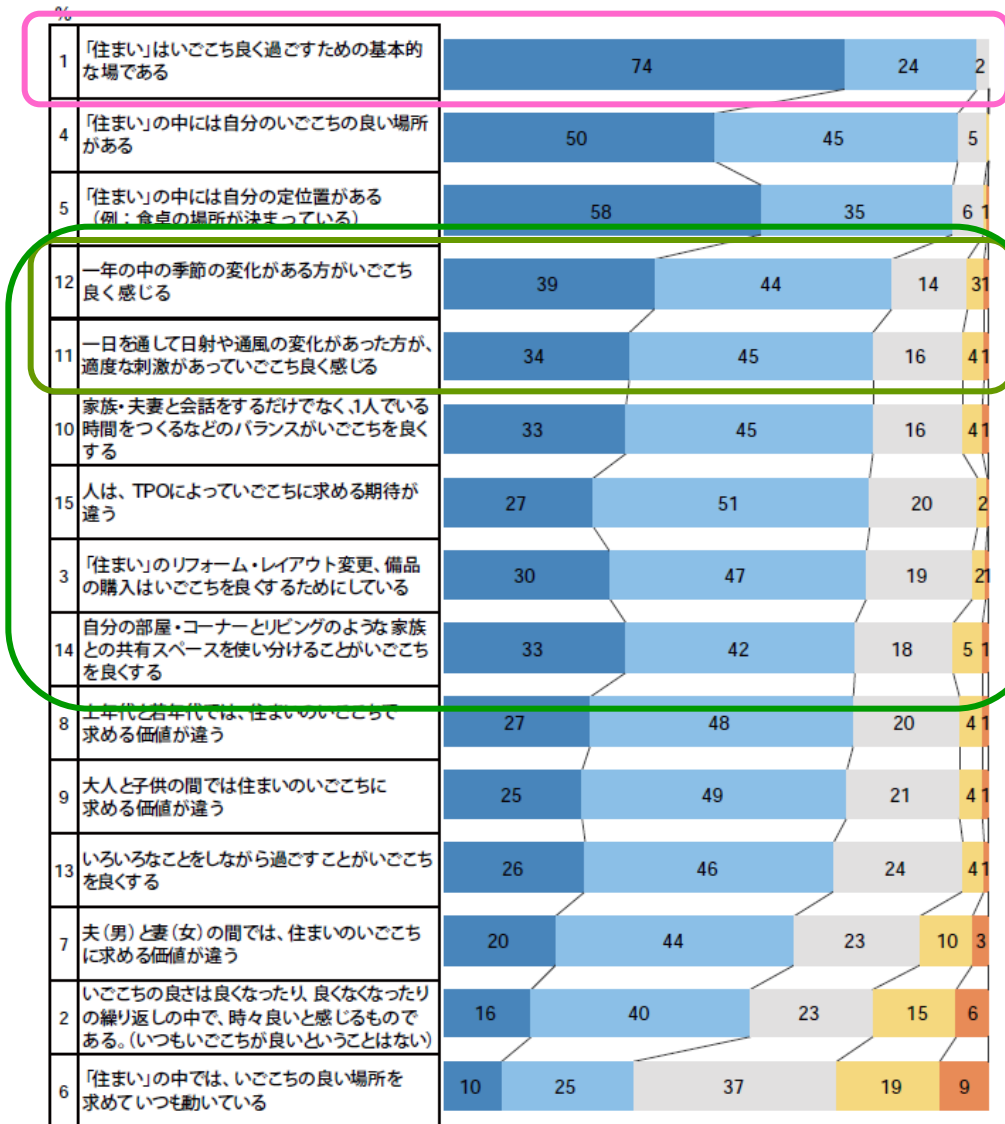
## ECOLOGY

「生態学」=生物と環境の関係を取り  
扱う学問

ECONOMYから来る「節約」「安  
さ」に寄り過ぎてはいないだろうか。

◎ひとと家、住まい方という視点  
「いごこちの良さ」というキーワード

# 住まいにおける「いごこち」についてどう思うか



いごこちよく過ごすことは住まいの基本である

居心地の良さは、住まいの基本的な要件

一日の環境や季節の変化を感じられるのはこちよい

季節の変化や、一日のうちでの日射や通風の変化があること

変化(季節・時間・過ごし方)が、いごこちと関係

家族・夫婦の時間と、一人である時間を創れること  
・・・

■かなりそう思う ■少しそう思う

いごこち評価 WEB アンケート調査  
対象：ヘーベルハウスオーナー 444人  
期間：2012年11月20日～12月3日

# どんな時に「いごこちの良さ」を感じるか

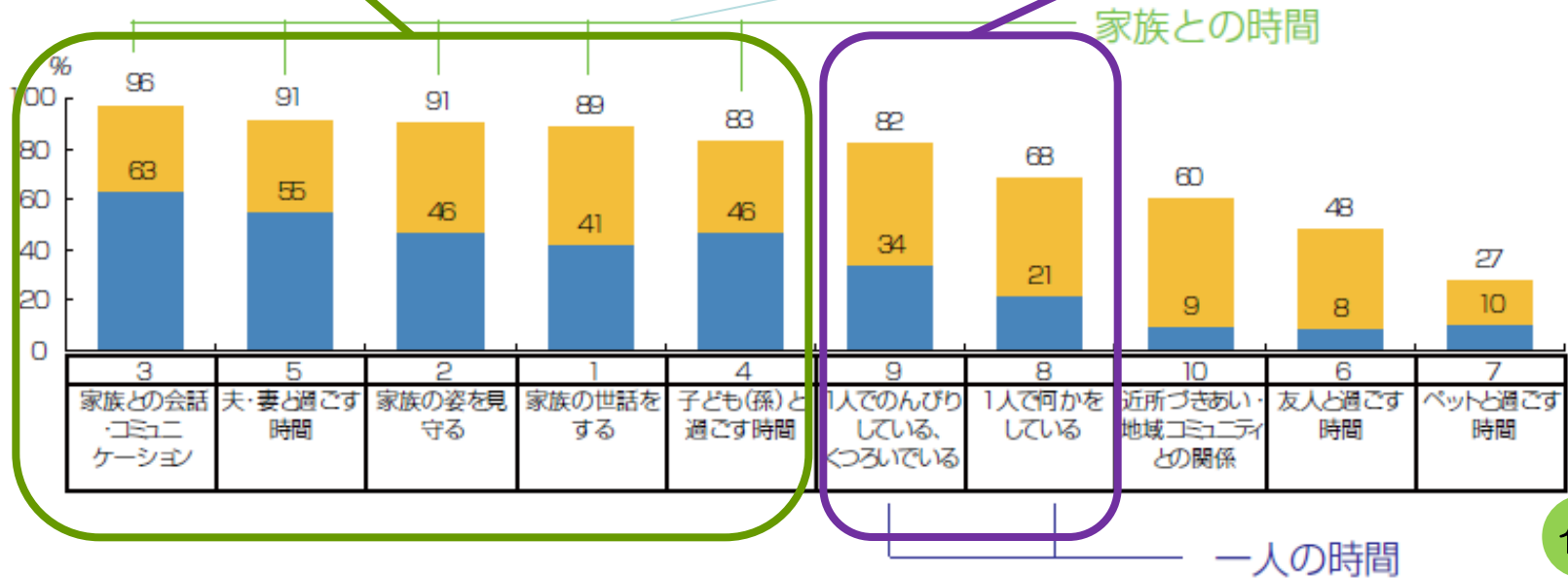
## ○家族との時間

家族との会話・コミュニケーション  
 夫・妻と過ごす時間  
 家族の姿を見守る  
 子ども（孫）と過ごす時間

## ○一人の時間

ひとりでのんびりしている、寛いでいる  
 ひとりで何かしている

■「いごこち良く住まう」ために大切なことは何か（家族関係） ■かなりそう思う ■少しそう思う



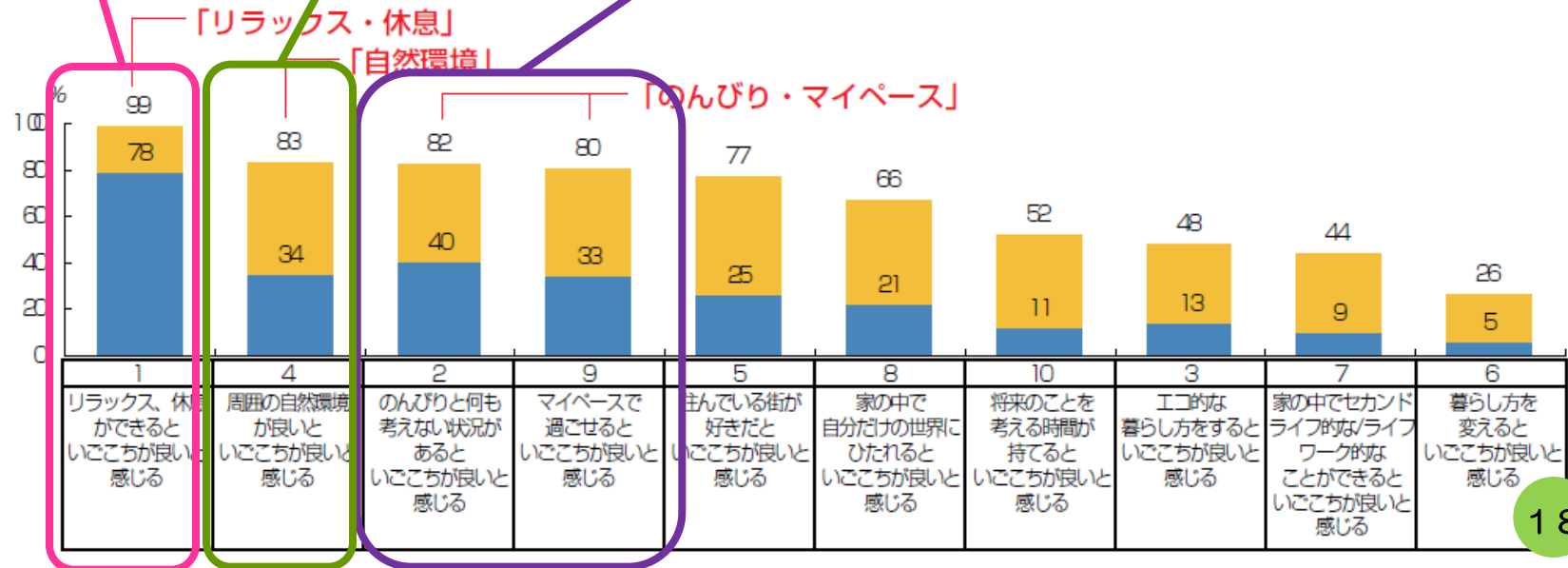
# 「いごこち良く住まう」ために 大切なこと

○リラックス  
休息

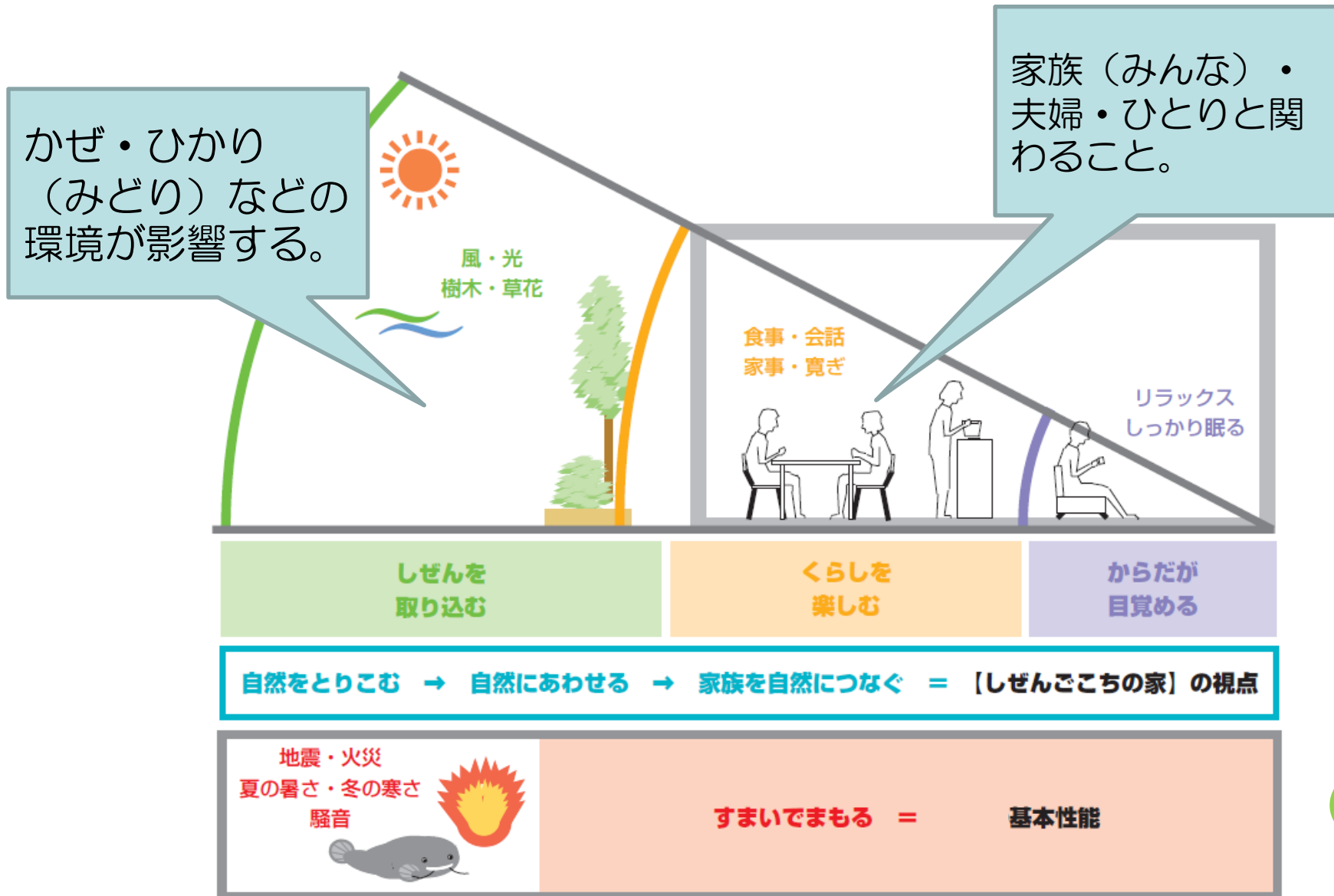
○周囲の  
自然環境

○のんびりと何も考えない  
マイペースで過ごせる

■住まいにおいてどんな時に「いごこちの良さ」を感じるか ■かなりそう思う ■少しそう思う



# いごこちの良さの視点





ひかり・かぜを取り入れる  
ことで達成されるこちよさ



住まいのこちよいシーン



ひかり・かぜがこちよい  
いいイエ



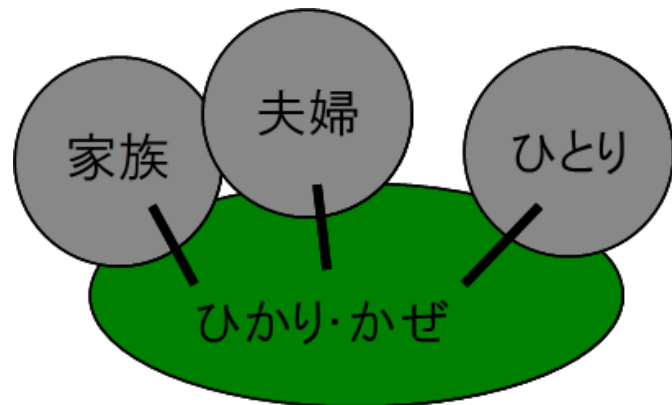
# 実例紹介

## その2

# しぜんごこち3階 大宮A街かど展示場 五更観月の家 (ごこうかんげつのいえ)

ぼんやりの時間を過ごす

明け方4時頃を戌夜（ぼや）という。  
そのほんのりした明るさを  
「ぼんやり」といったことが語源。  
戌夜（ぼや）の時間帯を五更（ごこう）  
とも言う。



# 平面



2F



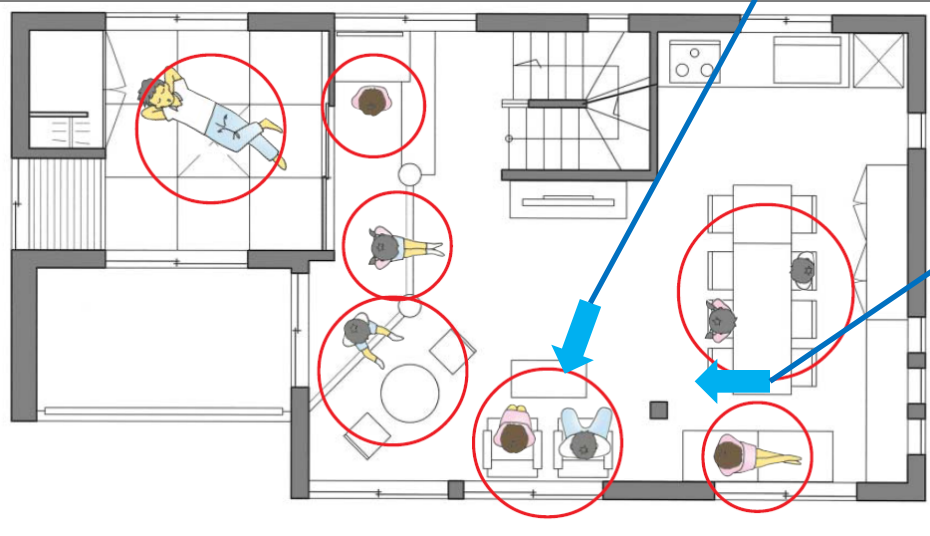
3F



# みんなの居場所 (家居の団欒)



2階



# みんなの居場所

- **ふたつの団欒**・・・家族が同じ場所に集まること？
- 「家居（イエイ）」の団欒・・・家族のパーソナル化した時間を認めつつ、それを団欒とする住まい方。団欒の意味は拡大している。団欒は、凝縮された団欒のイメージから、家族が、何気に、その辺にいるという感覚へ。見えない場がある方が、居やすい場合もある。
- 「円居（マドイ）」の団欒・・・皆が一堂に集い、共通の話題で寛ぐ、本来の団欒を大切にしたい住まい方。
- **家居の工夫**・・・空間のあちこちに、腰かける段差や、パーソナルチェア、テーブルで、居場所をたくさんつくる。移動可能な家具にすることで居場所の距離をとったり、くっついたりすることができる。居場所が少なかったり、距離が近かったりすると、個室の方が居やすい場所になってしまう。  
たくさんの居場所の環境は一律ではないように配慮する。（明るさ・暗さ、日差しの強弱、涼しさ、温かさ・・・）だから、その時々心地よい居場所を選ぶことができる。



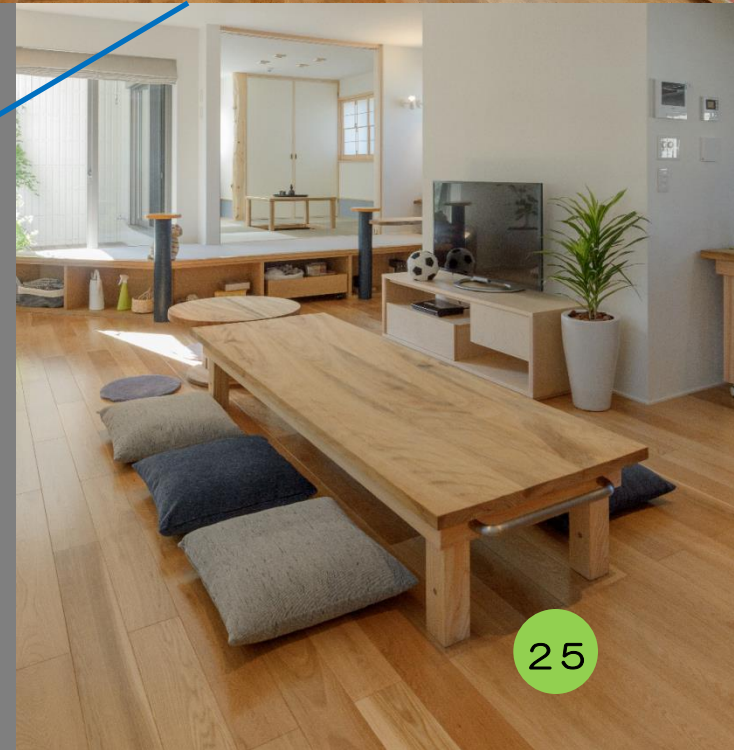
# みんなの居場所 (家居の団欒)



2階



2F

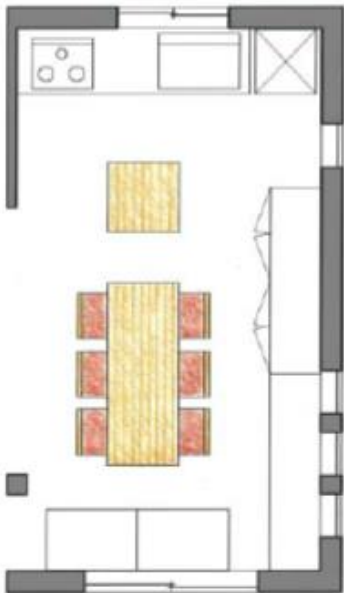


25

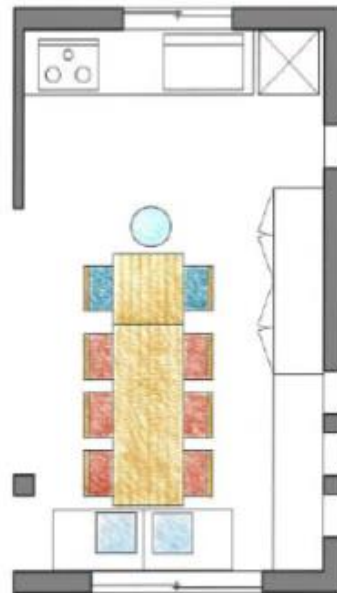
# みんなの居場所

・ **円居の工夫** ・ ・ ・ 基本的に食事の場は、皆が顔を合わせて団欒できる室礼（しつらい）になっている。そこを、皆が一堂に集う団欒の場とする。基本となるのは、食事の機会であるから、飽きの来ない変化ある食事の場の演出が円居のポイントである。

① 普段は長めの多目的  
テーブルと配膳台



② ベンチをつけて大人数用



③ コーヒーテーブルと長テーブルを  
低くして床座の食卓



# ひとりの居場所



3階





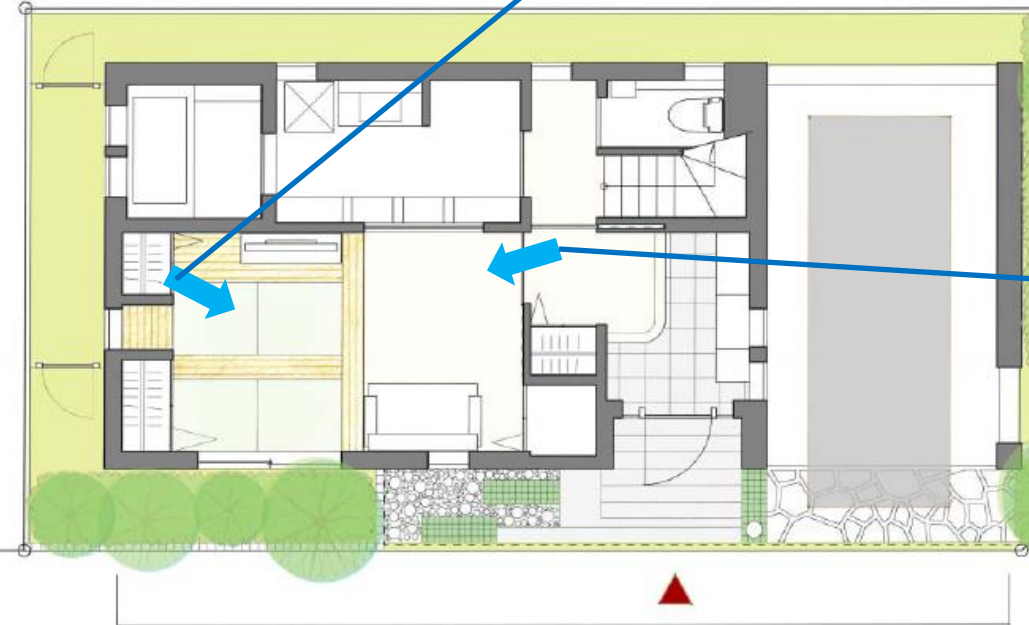
# ひとりの居場所

- 家の中に、ひとりでごろごろできたり、ぼんやりできる場はあるだろうか？
- **ぼんやりの条件は**  
夏場は、かぜやひかげで涼しく、冬場はぽかぽか暖かい場所  
自由な姿勢がとりやすい  
眺めに関わる
- 写真のベランダはみんなの場所でもあるが、ひとりでいれば、ぼんやり過ごせる場となる

# 夫婦の居場所



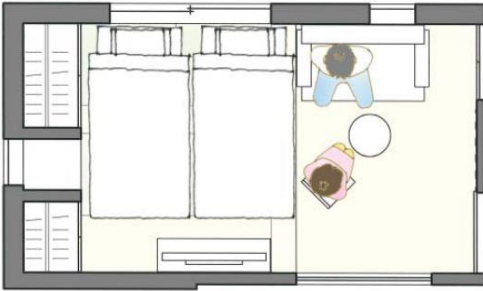
1階





# 夫婦の居場所

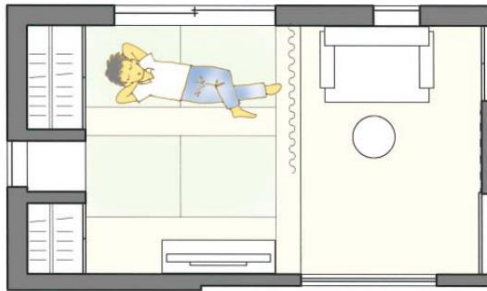
- 夫婦の居場所は、単なる寝室ではない。
- 夫婦の大切な語らいの場としたい



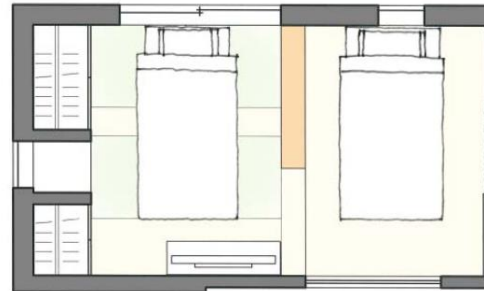
ふたりで語らう。夫婦で話したり、考えたりすることはたくさんあります。



布団をたためば座敷居酒屋にも。ふたりで団欒。



時にはひとりになれる空間があることはとても大事です。



別寝室にも対応可能。将来は座式の書斎付個室に。

EEEE

ECOLOGY  
ENVIRONMENT  
ENERGY  
ECONOMY . . . .

ご清聴ありがとうございました。

旭化成ホームズ(株)くらしのバージョン研究所